

第4回研究会速報

■日時：2008年11月8日（土）13時～17時 ■会場：こどもの城（東京都渋谷区）



やや少人数でしたが、その分濃密な議論が展開！

これまでの研究会を通して、若者が「しごと観」を育成するためには、学生が色々な形で他者と関わりを持つ「向社会性」という概念が重要であることが分かってきました。

今回の研究会では、若者と地域コミュニティが関わりを持てる機会のプロデュース事例として、シブヤ大学発起人の近藤ナオ氏をお招きし、キャリア教育とコミュニティとの関わりについて熱い議論が交わされました。

また、都内の専修学校、各種学校を代表し、充実・振興に努められる東京都専修学校各種学校協会（東専各）の有我明則氏をもう1人のゲストに迎え、今後の専門学校の活動についても活発な議論がなされました。

シブヤ大学の紹介は刺激があった！（アンケートより）

ゲスト講演（1）地域コミュニティとの関わりを通じた若者のしごと観育成事例

シブヤ大学発起人 近藤ナオ氏

若者の「面白い」から授業が生まれる

若者が、「社会を変えたい」という思いを持ち、また行動を通してその思いを深めていくための仕組みとして、ナオさんが手がける「シブヤ大学」「ハイジャック会議」を紹介いただきました。

シブヤ大学では、渋谷に住む地域住民が自ら教師となり、「授業」を通してお互いに学び合える場づくりを行っています。若者が自ら授業を企画運営した事例として、「視覚障害者のための映画音声解説」「緩和ケアゼミ」などの授業を紹介いただき、若者に行動を促すためには、「飲み会などで若者がボソッと漏らす『こんなことがしたい』という言葉を見逃さない」「『面白い』という気持ちを大切に、本人が面白いと思うことをさせる」といったことが重要であることをお話いただきました。

もう一つの事例として紹介されたのが、ハイジャック会議。これは、地域社会に対する不満をもとに「街のハイジャック計画」を考える会議を行い、それを実行に移す、というもの。「将来の夢が分からなくても、不満は誰にでも。そこからまず行動を起こしてもらおう」「2時間会議をすると、必ず何かしらの実行アイデアが出てくる」といったナオさんの言葉は、若者のキャリア形成を考える際の知見として、貴重でした。



ゲスト講演（2）：都内の専門学校におけるキャリア教育の現状と最新事例
東京都専修各種学校協会（東専各）有我明則氏

日本における専門学校の位置づけを俯瞰



多くのデータをもとに現状を解説いただきました

東京都内の専修学校・各種学校教育の充実・振興に努める東専各の有我氏さんに、専門学校の現状を紹介いただきました。強調されたのは、生徒に対し、大学への進学を積極的に勧める高校が増える一方で、専門学校独自の位置づけが見直される動きも出ている点。「大学卒業後に専門学校に来る学生が必ず何割かいる」「ニートやフリーターなど、社会的問題がある場所こそ専門学校の存在が重要」「学校教育法における位置づけを変えようという動きもある」といった現状をお話いただき、専門学校が持つ、独自の優れた教育コンテンツを有効に活用できる施策を今後も展開されていくとのことでした。

参加者ディスカッション

2名の講師の講演の後には、それぞれディスカッションの時間を設けました。トータル2時間、じっくりと講師、参加者間で意見交換が交わされました。

<発言集>

●大人でも持っていないのに、若者に夢を聞くのは失礼。野球選手としか答えようが無い●まず不満を言わせて、そこからアイデアを考える●決められた職業に学生をはめ込むという考えが残っている学校もある。そういう学校は自分から何かを作っていくという考えとのギャップが大きい●指向性が近い者同士が集まっている専門学校は、学生と一緒に行動を起こしやすい風土があるのでは？●何となく興味を持っている学生をどれくらい巻き込めるかが大事●専門学校の場合、まず技術習得が第一。何をしたいかを考えるのはその後●仕事を通して人間力は高まるという考え方もある。とにかく仕事に就けることが大事では？●離職でも、同じ業界内であればポジティブに捉えても良いのでは？離職についての調査をしたら面白そう●職業人教育学会を立ち上げ、若手研究者を巻き込んでいきたい●

大学や短大との位置づけの
違いを理解した（アンケートより）



今回の研究会はどうでしたか？ ～参加者アンケートより～

●シブヤ大学のレクチャーはおもしろく、刺激を受けました●専門学校と短大とのコンフリクトについて理解が深まった●東専各さんの活動についてよく知ることができた●開催時期と場所については改善の余地があるのでは●総合学習の時間とキャリア教育について、もっと他校と話してみたい●広島大学、小方先生の話はぜひ聞いてみたい！●今まで通りの切り口で刺激のあるレクチャーをお願いします●